

科目区分	専門科目・がん治療学系		
授業科目名	腫瘍学		
担当者名	責任者 柴田 浩行	分担者	今井 一博, 成田 伸太郎, 飯島 克則, 有田 淳一
単位数	2単位(選択)	配当年次	1,2年次
授業形態	講義, 演習	実施場所	授業計画の[実施場所]を参照
開講期間	2026年4月～2026年9月(日程の詳細は応相談)		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
授業の概要・到達目標			
<p>授業の目的:罹患数の多い腫瘍(癌)に関する病態論並びに現行最先端の治療の概要を学び, 新規治療法開発や将来の問題解決のための研究の進め方について理解することを目的とする。</p> <p>授業の到達目標:我が国における癌疾患の実態を理解し, 最先端の治療がどのようなコンセプトの基に行われているかを説明できるようになることを目標とする。</p> <p>授業の概要:『授業の概要及び到達目標(授業内容)』を参照</p>			
授業計画			
	授業の概要及び到達目標 (授業内容)	担当教員名	講座名 [実施場所]
1	呼吸器外科総論	今井 一博	胸部外科学 [南臨床棟外科 カンファレンスルーム]
2	肺がんについて知る	今井 一博	
3	呼吸器外科領域のガイドラインを紐解く	今井 一博	
4	泌尿器の4大癌(膀胱癌, 腎癌, 前立腺癌, 精巣癌)についての 特徴と診療上の課題を概説	成田 伸太郎	腎泌尿器科学 [泌尿器科 カンファレンスルーム]
5	前立腺癌の特徴, とくにアンドロゲン依存性と非依存性, 薬剤 耐性のメカニズム, 高脂肪食と進展の関連などの特性を解説	成田 伸太郎	
6	腎癌の特徴, とくに血管新生や腫瘍免疫に焦点をあて, 最新 治療の現況と問題点を解説	沼倉 一幸	
7	肝癌の成因と肝癌予防を目指したウイルス肝炎治療	南 慎一郎	消化器内科学・ 神経内科学 [消化器内科, 神経 内科セミナー室]
8	肝癌の疫学と内科的治療	南 慎一郎	
9	胆道癌・膵癌の内科的治療	千葉 充	
10	肝癌と胆道癌の実態とエビデンスに基づいた治療設計	有田 淳一	消化器外科学 [南臨床棟外科 カンファレンスルーム]
11	膵癌の実態とエビデンスに基づいた治療指針	有田 淳一	
12	消化器癌集学的治療における外科手術の立ち位置	渡辺 剛	
13	発癌の分子メカニズム—発癌モデル動物を用いた解析—	柴田 浩行	臨床腫瘍学 [基礎棟2階 第二講義室]
14	がんゲノム診断—分子標的治療の新展開—	柴田 浩行	
15	分子標的薬の開発—トランスレーショナル研究—	柴田 浩行	
成績評価の基準と方法			
講義室(研究室)での講義30時間+自学自習15時間, 計45時間で1単位とし, 評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果, 提出したレポートの内容を考慮して行う。			
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)			
柴田 浩行, hiroyuki@med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項			
履修に関する情報:社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。			
教科書・参考文献:必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。			
自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			